



札私幼

第156号 平成29年3月15日発行

《編集》
札私幼広報委員会

《発行責任者》
一般社団法人
札幌市私立幼稚園連合会
前田 元 照

札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10
札幌市生涯学習総合センター内
☎ 671-3590 FAX 671-3591

平成29年 永年勤続者表彰式 新年交礼会



平成29年1月23日(月) ホテル札幌ガーデンパレスにて永年勤続表彰式と新年交礼会が藪副会長の進行で開催されました。始めに前田会長の挨拶があり、新年の言葉と共に勤続表彰者の方々へ感謝の気持ちが述べられた後、永年勤続表彰式が行われました。今年は、30年勤続者5名、20年勤続者13名、10年勤続者44名、計62名の方々が表彰されました。受賞者を代表して澄

川幼稚園 米永桃子園長から挨拶があり、ご来賓や出席者から受賞者の方々へ祝福の拍手が送られました。続いて新年交礼会が行われ、始めに、札幌副市長 板

垣昭彦様から祝辞があり、次に国会中にも関わらずご来賓下さいました衆議院議員 高木宏壽様からも頂きました。また札幌市私立幼稚園振興議員連盟会長 三上洋右様、前衆議院議員 船橋利実様、北海道私立幼稚園協会会長 川畠教孝様からも祝辞を頂きました。今年は酉年ということで、物事を始めるのに縁起の良い年でもあり飛躍できる年にしようという新年にふさわしいお話を沢山頂きました。皆様の祝辞の後は、北海道私立幼稚園PTA連合会会長 岡澤邦幸様の祝杯の音頭で祝宴が始まりました。祝宴では、勤続表彰者の記念撮影が行われ、一般社団法人札幌市私立保育園連盟会長 菊地秀一様からも言葉を頂き、和やかな雰囲気でした。参加者の方々は、久しぶりに会う同級生や先生方と談笑をしたり親睦を深めたりする姿も見られ楽しい時間を過ごすことが出来ました。最後は、丸谷副会長の閉会の言葉で永年勤続表彰式と新年交礼会を終えました。



平成28年度 幼稚園教諭養成校・札幌市私立幼稚園連合会懇談会

12月13日(火)、ホテル札幌ガーデンパレスにて養成校と札私幼との懇談会が行われ、養成校から18校23名、札私幼から23名(理事・監事)が出席しました。

札私幼から就職フェア報告を行った後、7グループにわかれ、①教育実習について②就職について懇談が行われました。学生の実習園、就職したい園選びの視点や、就職の際のミスマッチを防ぐための取り組みについて等、グループごとに具体的な話し合いが行われ

ました。

人材確保が難しくなっている今、養成校と幼稚園がお互いに協力していきながら、幼稚園教諭・保育教諭の仕事の良さをPRしていかなければならないという事を確認する場となりました。



永年勤続表彰受賞者

✿ 勤続30年表彰 (園番号順)

5名



伊藤 克彦
(札幌大谷幼稚園)

横井 茂輝
(新琴似育英幼稚園)

山口 賢二
(あゆみ第二幼稚園)

井山 てる
(札幌みづほ幼稚園)

荒井 智恵
(よい子の幼稚園)

✿ 勤続20年表彰 (園番号順)

13名



馬見 雅子
(ばんけい幼稚園)

原 博美
(百合が原幼稚園)

工藤 礼奈
(あいの里大藤幼稚園)

宿谷 英樹
(白石幼稚園)

羽田野 有香
(北部幼稚園)

岩村 歩
(札幌第一幼稚園)

澤木 多佳子
(認定こども園 北野しらかば幼稚園・保育園)

武田 留美
(認定こども園 北野しらかば幼稚園・保育園)

米 永桃子
(澄川幼稚園)

能登谷 麻里子
(澄川幼稚園)

田中 瑞穂
(手稲育英幼稚園)

名越 千桃
(富丘つくし幼稚園)

林 里美
(前田幼稚園)

✿ 勤続10年表彰 (園番号順)

44名



- 野村 梨香
(認定こども園 カトリック聖園こどもの家)
- 藤野 妙子
(大通幼稚園)
- 椿原 千恵
(大通幼稚園)
- 石川 順子
(新琴似育英幼稚園)
- 松本 絵里
(札幌北幼稚園)
- 高橋 由香里
(そうせい幼稚園)
- 相川 さおり
(百合が原幼稚園)
- 若狭 友美
(百合が原幼稚園)
- 井上 瑞紗
(幼保連携型認定こども園 せいめいのもり)
- 池戸 幸
(幼保連携型認定こども園 せいめいのもり)
- 中江 雅子
(幼保連携型認定こども園 せいめいのもり)
- 菊地 和子
(幼保連携型認定こども園 せいめいのもり)
- 大野 美香
(幼保連携型認定こども園 さつなえのもり)
- 宮崎 直子
(幼保連携型認定こども園 さつなえのもり)
- 湯澤 方浩
(あゆみ幼稚園)

- 千葉 友子
(幼保連携型認定こども園 おかだまのもり)
- 新井田 弘子
(幼保連携型認定こども園 おかだまのもり)
- 上島 秀子
(幼保連携型認定こども園 おかだまのもり)
- 近江谷 宏美
(あゆみ第二幼稚園)
- 富樫 比沙
(あゆみ第二幼稚園)
- 武藤 未奈
(札幌白樺幼稚園)
- 小村 千恵
(札幌白樺幼稚園)
- 谷口 綾乃
(白石幼稚園)
- 餌取 晴香
(認定こども園もみじ台幼稚園)
- 向田 彩乃
(認定こども園 いちい幼稚園・保育園)
- 小林 光代
(認定こども園 新さっぽろ幼稚園・保育園)
- 長岐 静香
(認定こども園 桜台いちい幼稚園・保育園)
- 松田 有左
(札幌若葉幼稚園)
- 志村 明子
(平岸幼稚園)
- 藤井 亜希子
(平岸幼稚園)

- 武井 雅彦
(札幌ゆたか幼稚園)
- 富田 紗季
(認定こども園 北野しらかば幼稚園・保育園)
- 松川 美咲
(認定こども園 北野しらかば幼稚園・保育園)
- 後藤 絵理
(認定こども園 北野しらかば幼稚園・保育園)
- 夏伐 香代子
(澄川幼稚園)
- 山口 文子
(澄川幼稚園)
- 久保田 理紗子
(真駒内幼稚園)
- 保村 安美
(光塩学園女子短期大学附属幼稚園)
- 前寺 真希
(真駒内聖母幼稚園)
- 布施 俊之
(発寒にこりんこども園)
- 上田 真吏
(平和幼稚園)
- 中田 友紀乃
(認定こども園 山王幼稚園)
- 中村 藍
(富丘つくし幼稚園)
- 石山 祥子
(富丘つくし幼稚園)

平成28年度代表者会議・札私幼臨時総会

2月20日(月)午後2時からホテル札幌ガーデンパレスにて平成28年度の代表者会議及び札私幼臨時総会が開かれました。

代表者会議は中村副会長の進行で始まり相良振興委員長長の「平成28年度札幌市私立幼稚園・認定こども園実態調査」の概要報告、次に吉田認定こども園委員長の「平成29年新制度関連予算」の説明が行われました。

その後講師の文部科学省初等中等教育局幼児教育課専門官大野雅史氏を迎え「子ども子育て支援新制度に関する最新動向について」の最新情報を頂きながら前田会長、丸谷副会長の質問や確認事項などを交えながら進められ参加の方々からの質問や要望にも丁寧に応じてくださる大野専門官でした。

その後休憩を取り午後4時臨時総会が丸谷副会長の「開会の言葉」でスタートしました。前田会長の挨拶の後、来賓としてご臨席の札幌市私立幼稚園振興議員連盟の皆様を代表して清田区選出宮村素子市議会議員、札幌市私立幼稚園PTA連合会会長小林邦章様のご挨拶を頂きました。相良振興委員長より定足数の確認が行われ(136園中98園の出席)本総会は成立しているとの旨の報告があり、議長に東区聖ミカエル幼稚園渡部良子氏を選出、議事録署名人に厚別区札幌みづは幼稚園須合國彦氏、手稲区富丘つくし幼稚園森山正美氏の両名が指名され議事に入りました。

議案第1号平成29年度事業計画案について各委員会(総務・振興・研究・広報・認定こども園)の委員長より計画案が示され原案通り承認されました。議案第

2号平成29年度収支予算案については樺沢事務局長から増減のある科目等経過説明があり4月に改めて事務局長を迎えることにより支出の部での管理費が増になることにも触れこの件を含め原案通り承認されました。また29年度から新しく札私幼に加入することが決まった幼保連携型認定こども園3園の中の2園の紹介がされました。他に会員からの提出議案もなく渡部議長がすべての議案が審議終了したことを告げて退任しました。

総会の結びとして藪副会長が閉会の言葉の中で「それぞれの園がこどもにとって温かい場所に！保護者にとって温かい場所に！働く先生方にとって温かい場所に！」のお話をされ先に行われた代表者会議の子ども子育て支援新制度の最新動向を含め会員園が相互に学び合い子どもたちにとってより良い環境の提供に励む札幌市私立幼稚園連合会の歩みを期待し滞りなく終えた臨時総会でした。



平成29年度札幌市予算(私立幼稚園関係)ー特別支援教育補助金拡充ー

昨年11月15日の予算要望以降、札私幼執行部は、前田会長を中心に子ども未来局と粘り強く予算折衝を行いました。その結果、2月2日、平成29年度の札幌市予算案が秋元市長より発表されましたが、特別支援教育事業費補助金に関して前進がありました。以下に、予算案の概要をまとめます。

①特別支援教育事業費補助金(拡充)

今年度は、教諭人件費の補助は4人分(要支援児13人以上)でしたが、29年度より最大5人分(要支援児17人以上)となりました。(下表参考)。この予算が28年度に引き続き拡充されたことは、支援を必要とする

現行(平成28年度)

要支援児数	教諭数	補助単価
1～4人	1人	901,200円
5～8人	2人	1,802,400円
9～12人	3人	2,703,600円
13人以上	4人	3,604,800円

新基準(平成29年度)

要支援児数	教諭数	補助単価
1～4人	1人	901,200円
5～8人	2人	1,802,400円
9～12人	3人	2,703,600円
13～16人	4人	3,604,800円
17人以上	5人	4,506,000円

子どもたちの育ちに札私幼加盟園が積極的にかかわっていることが理解されていることの証であるとともに、今後は、保育者の手厚い配置や研修の参加等によって、各園が特別支援教育の充実をさらに図っていく責任もあるといえそうです。

②認定こども園整備費補助

幼稚園から認定こども園に移行する園に対し、29年度は幼保連携型への移行が3園、幼稚園型への移行が1園、整備費補助が出る予算案となっています。

③その他

教材教具等整備費補助金、札私幼への研修費等補助金は、現行水準を維持することができました。なお、リーダークラスの職員に対する新たな処遇改善の仕組みなどについては、今後も未来局と交渉の機会をもち、詳細がわかり次第、各園にご案内する予定です。29年度予算案は、市議会の29年第1回定例会の審議を経て、3月中旬に議決される見込みです。予算要望、予算折衝へのご支援、ありがとうございました。

第36回政令指定都市私立幼稚園団体協議会 新潟協議会

新制度の施行により市と私立幼稚園・認定こども園の関係性が強まったため、他の政令指定都市の動きも参考にしながら、よりよい制度設計に向けて取り組んでいく必要があります。政令指定都市20都市すべての私立幼稚園団体が加盟する政令指定都市私立幼稚園団体協議会の新潟協議会が、2月2日(木)、3日(金)の2日間、新潟市内のホテルで行われました。札私幼からは、前田会長、丸谷副会長、藪副会長、中村副会長、政令運営委員の前鼻先生が出席し、各都市との情報交換を行いました。

1日目

1年後に控える幼稚園教育要領の改訂に向けて、幼児教育を学ぶ機会が設けられました。講演1の「幼稚園教育要領の改訂について」は、文部科学省視学官の湯川秀樹氏より、改訂内容の解説がありました。続く講演2の「アクティブラーニングとその実践例」は、玉川大学准教授の田澤里喜氏より、これからの時代の学力観とともに、保育の実践例を写真を交えて紹介があり、主体的で対話的な学びの大切さを改めて感じる

ことができました。

2日目

「新制度の現状と今後の課題について」というテーマのもと、特に「利用調整」と「人材確保」を中心に情報交換会が行われました。新潟市からは、認定こども園を第一希望としている2号認定の場合、2週間早く利用調整が行われ、一定程度直接契約としての入園募集が可能となっているとの報告がありました。また、神戸市私立幼稚園連盟では、資格のある保護者を対象に研修を3日間行い、受講を修了した保護者と各園をマッチングする就労促進事業を昨年度から立ち上げたということで、各都市とも年々深刻な課題となっている保育者の人材確保に向けて、様々な取り組みを行っていることがわかりました。なお、大阪市は、今年度から5歳児の幼児教育無償化を始めましたが、29年度からは4歳児の無償化もスタートする予定だそうです。

今後も、各都市の幼稚園団体とのネットワークを活かしながら、札幌の幼児教育のさらなる充実を図りたいと思います。

第2回札幌幼児教育セミナー

第2回札幌幼児教育セミナーが1月27日(金)エルプラザで行われました。今回は、全日本私立幼稚園幼児教育研究機構理事長で光明幼稚園(京都)園長の、田中 雅道先生を講師としてお招きし、「幼稚園教育要領改訂の根底となる学力観」というテーマで講演して頂きました。

まず「かしこい」ということについてのお話でした。これからは、一つの答えだけではなく、そこから引き出される、自分の考えが求められること。ニューロンの話から、6歳までは教えれば何でも覚えるが、本人が体験していない、自分にとって意味のない記憶は、7・8歳で忘れてしまうことから、あそびを通して記憶していくことが大切であるとのことでした。

メタ認知能力について具体的なお話を頂いた後、ベ

ン・マードルから見た、ごっこ遊びの重要性に話がつながりました。自分の意見を言う、人の意見を聞く認知能力だけでなく、あそびの中でどこに妥協点を置き、遊びを提案できるかが、非認知能力にとって大切なことであり、また、5歳位で育成されるとのお話がありました。

その他にもヘックマンの経済学・ペリーの縦断研究から見た幼児教育についても分かりやすくお話し頂きました。

新教育要領の保育を考えるにあたり、今までと大きな変化はなく、私達の行っている保育は間違いではないとの話がありました。保育の根幹についての話を聞き、貴重な時間となりました。



園紹介 ア ラ カ ル ト



【学校法人聖公会北海道学園 聖ミカエル幼稚園】



私たち聖ミカエル幼稚園は、1954年、お隣の札幌聖ミカエル教会の附属幼稚園として設立され、現在は学校法人立の幼稚園となっています。

園児数は90名。小さな、アットホームな幼稚園です。子どもたちは、先生やお友達や保護者の皆様との豊かなかわりの中ですくすくと育っています。

聖ミカエル幼稚園が日常の中で特に大切にしているのは、絵本の読み聞かせと、外遊びです。

子どもたちは、帰りの会で毎日2、3冊の絵本を先生から読んでもらいます。また、毎週木曜日には、絵本サークルのお母さん方が絵本を読んでくださいます。毎週金曜日には、たくさんの絵本が揃う絵本の部屋から、子どもたちが1冊、好きな絵本を選んで借りていき、週末、お家でゆっくり読んでもらいます。いつも絵本が身近にある環境の中で、子どもたちは育ちます。

外遊びは、雨の日や地面がドロドロでなければ毎日行います。虫探し、落ち葉拾い、お砂場、うんてい、三輪車、かけっこ。夏には菜園のミニトマトをもちで食べたり、キュウリにかじりついたりします。冬には

雪山でそり滑り。一年中園庭から元気な子どもたちの声が聞こえてきます。

6月に行われる運動会は、近くの小学校のグラウンドをお借りします。園児たちのかけっこ、お遊戯、未就園児親子教室「いちご組」のお遊戯、祖父母による玉入れ、小学生の借り物競争、保護者によるクラス対抗競技など、その場に集う全ての人を楽しめる行事になっています。そして、最後に披露する年長さんの「よさこい」は圧巻です。

9月には、「ミカエルバザー」が開かれます。バザーの一番の目的は、発展途上国の人々に古着を送るための送料を集めることです。教会の皆さん、日曜学校の子どもたち、幼稚園の保護者と子どもたち、国際青年寮の学生たち、みんなで力を合わせます。古着、手作り小物、手作りおもちゃ、食品、雑貨、ゲームなど、たくさんのお店が出ます。去年は子どもたちも保育の中で、きれいな色のキャンドルを作り、バザー当日は年長さんがそれを売りました。自分たちの働きが、世界の困っている方のために役立っている、ということを実感した子どもたちでした。

12月に行われるイエス様の降誕劇は、年長さんが演じます。年中さんは元気いっぱい聖歌隊、年少さんはかわいらしい羊ちゃんに扮して、劇を盛りたてます。長いセリフをしっかり覚えて、堂々と演じる年長さんは、年下の子どものあこがれです。お母さん方も聖歌隊として参加します。60年以上経つ丸太とレンガの美しい礼拝堂の中に、歌声が響きます。とても豊かなクリスマスです。

これからも、様々な活動の中で、子どもたちが大きく育っていくことを願っています。



第3回乳幼児保育研修会

2月7日(火)かでの2・7にて、「第3回乳幼児保育研修会」が開催されました。社会福祉法人札幌光明園まこと保育所所長真鍋尚美先生をお迎えし、「乳幼児期の保育における安全と管理」についてお話をいただきました。

「子どもを守るとはどのようなことなのか」その本当の意味を改めて考える時間となりました。子ども達から危険を取り除いていくことが守ることなのだろうか。子どもが目の前の危険を自分なりに考え、回避していく力をつけることが大切なのではないだろうか。つい大人が手を出して守りたくなってしまいますが、本当の意味で「守る」ということをしっかり考えていかなければならないと感じました。

子どもが日々成長するということは、その成長に伴いリスクも変化する。そのことを忘れずに子ども達を見守ること。子ども達が自分の力で生きていくために、今私たちができることは何かを考えることが、保育者として大切な役割なのではないかと考えさせられる研修でした。



リーダー“力”スキルアップ講座

今年度第2回目となるリーダー“力”スキルアップ講座が12月14日(水)にちえりあにて行われました。講師として、株式会社こども保育環境研究所 企画事業推進本部次長 斎木里奈先生をお迎えし、『保育の質を“見える化”する手法を学ぶ』という演題で如何に、家庭(在園家庭、地域家庭)や地域社会へ保育の質(自園の良さ)を発信していくのか!を考え、見える形で保育の質を語る手法についてお話いただきました。見える化とはコミュニケーションであり、見せる側と見る側=評価する人が存在します。見せる側と聞くと「幼稚園だけ」と思いがちですが、そこで働く人材や利用者(保護者の雰囲気や子どもの育ち)も含まれ、一方見る側にもそこで働く人材や出入りする業者、園の利用者、地域の人々が含まれるという話を興味深く聞かせていただきました。発信するだけでは「見える化」しているとは言えず、見せる側の伝えたいことがちゃんと伝わっているか、また見る側の知りたいことを理解できているかの相互のイメージをマッチングすることの大切さも学びました。私達園側は、今後幼児教育・保育に携わる者として信念とプライドをもち、そして地域で選ばれ続けるためにはリーダーという立場の先

生も園長先生と同じ園経営という視点をもつことが必要になってくることを教えていただき、リーダーの役割や責任の重さを感じました。





連 台 会 日 誌

札幌市私立幼稚園連合会の主な動き
(11月以降・予定を含む)

10月28日(金) 第59回北海道私立幼稚園教育研究大会札幌
～29日(土) ブロック大会兼第48回札幌市私立幼稚園教育研究大会
11月11日(金) 研究委員会
11月15日(火) 札幌市長予算要望
11月22日(火) 特別支援研修会
第2回乳幼児保育研修会
12月1日(木) 広報委員会
12月7日(水) 札幌市子ども未来局との予算折衝
12月13日(火) 養成校懇談会
第7回理事会
総務委員会
12月14日(水) 第2回リーダー“力”スキルアップ講座

平成29年

1月18日(水) 札幌市教育委員会新年度事業打ち合わせ
1月23日(月) 永年勤続表彰・新年交流会
第8回理事会
総務委員会
1月27日(金) 札幌市子ども未来局予算折衝
札幌幼児教育セミナー
2月2日(木) 政令指定都市私立幼稚園団体協議会新潟協
～3日(金) 議会
2月7日(火) 第3回乳幼児保育研修会
札幌市幼児教育推進協議会

2月8日(水) 振興委員会
2月9日(木) 研究委員会
2月13日(月) 認定こども園委員会
2月20日(月) 総務委員会
第9回理事会
平成28年度臨時総会
代表者会議
2月21日(火) 札幌市子ども未来局新年度事業打ち合わせ
3月10日(金) 広報委員会

(予 定)

3月30日(木) 臨時総務委員会
4月20日(木) 理事会
総務委員会
5月19日(金) 平成29年度定時総会
理事会
総務委員会
7月4日(火) 札私幼PTAふれあい交流
7月25日(火) 札私幼新規採用教員研修
～28日(金)
9月23日(土) 札私幼就職フェア
9月29日(金) 第49回札幌市私立幼稚園教育研究大会
～30日(土)



春の訪れを待ち遠しく思う日が多くなりました。園生活も一年の締めくくりの時期を迎えました。園内に響き渡る卒園に向けての子ども達の歌声に淋しさを感じる時でもあります。今年度は開園50周年そして園長に就任して初めての卒園式でもあります。開園50周年と言う記念すべき節目に園長として卒園証書を手渡す事の重さを感じています。そんな園長として初めての一年を振り返ると何故か行事のたびにことごとくお天気に見放されたことが甦って来ます。その中でも6月の運動会ではまさかの予備日も雨。

物事の決断をする責任を思い知らされ様々なことを視野に入れ取り組みをしていかなければいけない事など、大変勉強になったと同時に良い経験にもなりました。今のこの気持ちを忘れずにまた新たな出会いの春を迎えたいと思っております。

今年度の札私幼広報誌も最終号となりました。広報委員会は広報誌の発行そして就職フェアの運営などが主な活動ですが、今年初めて委員を仰せつかり一年間活動に参加させていただき私自身の学びの場でもありました。この事を踏まえ、微力ではありますが今後の活動に取り組んでゆきたいと思います。最後になりますが今年度も札私幼広報活動にご協力いただきありがとうございました。また来年度も宜しくお願い致します。(広報委員 米永桃子)

